

Q&A

学力向上推進プロジェクト

－ 授業改善6つの方策 －

本プロジェクトは、平成29年度からスタートする学力向上推進の施策です。“プロジェクト”という名称には、県全体で方向を一にした取組に、教職員一人一人が参画し、目標を達成していきたいとの思いが込められています。

そこで、本プロジェクトの趣旨を共通確認し、円滑な実施を図るために作成した「Q&A」を示しています。

Q1

新たに策定された「学力向上推進プロジェクト」の特徴及び「夢・にぬふぁ星プランⅢ」との違いを教えてください。

本プロジェクトの特徴は、取組の重点を「授業改善」に置き、それを支える「6つの方策」を示しているところです。前プランでは、3つあった柱（キャリア教育、わかる授業の構築、目標管理）を、本プロジェクトでは「授業改善」に焦点化しています。☞ 参照（本冊子P6）

Q2

取組の重点を「授業改善」とした理由を教えてください。

諸調査より、児童生徒に確かな学力を育むには「授業改善」が最も効果的であることがわかっています。本県の児童生徒が今後直面するであろう、予測困難な社会変化に対応できる資質・能力を育てていくためには、今まで以上に、授業改善を推進していかなければならないと考えています。☞ 参照（本冊子P6）

Q3

今まで以上に「授業改善」を推進させていくために、学校ではどのような取組を行えばよいのですか。

本プロジェクトで示した「授業改善6つの方策」を各学校の実状や児童生徒の実態に合わせ、各機関との連携のもと、組織的・計画的に取り組んでほしいと考えています。☞ 参照（本冊子P7～P11）

Q4

方策1で示された「めざす授業像」、「めざす子供の姿」について、学校ではどのような対応をしていけばよいですか。

これから必要とされる資質・能力を育成する授業を共有するために、「めざす授業像」、「めざす子供の姿」を示しました。

学校においては、「めざす授業像」等を共有し、児童生徒の発達段階や教科等の特質に応じた自校の授業像・子供の姿を描き、授業改善を進めてほしいと考えております。☞ 参照（本冊子P8）

Q5

方策2で「教材研究の充実」を掲げていますが、先生方は今までも意識して取り組んできたのではないのでしょうか。

本プロジェクトでは、学校現場で培ってきた教材研究に係る豊富な実践知の共有をねらいとしています。そこで、方策2として「研究ツールの活用」「各種資料の分析・活用」「組織的な取組」の3つ視点を示しました。教材研究は、組織的に取り組むことによって、より充実が図られ、学校全体の授業改善の推進につながると考えています。☞ 参照（本冊子P9）

Q6

取組の重点を「授業改善」にしたことは、宿題や補習などは重視しないということですか。

授業・補習・宿題の学習サイクルは、学習内容の定着には欠かせません。今後も、授業改善を推進していくために、「学習を支える力」としての宿題や補習等の充実を図って下さい。
☞ 参照（本冊子P10）

Q7

「学力向上マネジメント」について教えてください。

「学力向上マネジメント」とは、学力向上の取組において、設定した目標の達成に向け、「計画」「実践」「点検・評価」「改善」のPDCAサイクルを機能させ、教職員の組織体制や学校運営、教育課程、授業づくりなどを発展させていくことです。

学力向上の取組を推進する上で、「学力向上マネジメント」を意識した職員全員による共通実践は重要です。
☞ 参照（本冊子P10）

Q8

「集団づくり・自主性を高める取組の充実」は、学力向上に具体的にどのような関わりがあるのですか。

本県がめざす授業像「他者と関わりながら、課題の解決に向かい『問い』が生まれる授業」を実現するためには、児童・生徒が安心して自分の考えや思いを表現できる支持的風土は不可欠です。その支持的風土を、学級のみならず学校全体で育てていくことが大切だと考えます。

そのために、方策5として「学級経営」「生徒指導の三つのポイントを生かした授業」「学級活動及び児童会・生徒会活動」を示し、全校体制での取り組みをお願いしています。

☞ 参照（本冊子P11）

Q9

「キャリア教育」や「目標管理」の視点はどうなりますか。

「キャリア教育」や「目標管理」については、教育活動や学校経営を充実させる上で重要であるため、今後も「学校教育における指導の努力点」の「努力事項」として、また「教職員評価システム」との関係性を重視しながら充実を図ります。

Q10

「わかる授業 Support Guide」と本プロジェクトの関わりはどうなりますか？


「わかる授業 Support Guide」については、本プロジェクトの内容を反映させながら部分修正していく予定です。学校においては、今後も継続して活用をお願いします。

（平成29年度版）

推進期間：平成29年度～平成31年度
学力向上推進プロジェクト
授業改善6つの方策


～日々の授業の充実を通して～

学力向上の取組の重点を「授業改善」におき、日々の授業の充実を通して、本県幼児児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせ、「生きる力」を育みます。



授業改善6つの方策

- めざす授業像の共有
- 学習を支える力の育成
- 教材研究の充実
- 集団づくり・自主性を高める取組の充実
- 学力向上マネジメントの推進
- 教育行政による効果的な支援体制の構築


 平成29年1月
沖縄県教育委員会